

サニーランズ・イニシアティブ
小田原ステートメント（仮訳）

2022年8月2日

インド太平洋地域における民主的パートナーシップ強化に関するサニーランズ・イニシアティブ（以下「サニーランズ・イニシアティブ」）は、オーストラリア、日本、インド、インドネシア、マレーシア、フィリピン、韓国、台湾および米国を含む民主化支援に取り組む有識者達のパートナーシップであり、そのメンバー達は、ビジョンをアクションに移すため、2022年8月1～2日に日本の小田原で会合した。サニーランズ・イニシアティブの第2回目となる今回の会合は、民主主義にとって決定的に重要なタイミングに開催され、2020年1月に開催された初会合において表明された原則（※）およびインド太平洋地域諸国と人々の協力のための共通ビジョンを推進し、地域全体における民主的ガバナンス、行動、規範を強化することへのコミットメントを再確認した。

市民的自由およびルールに基づく秩序を保護および増強する地域的アーキテクチャーがアジア地域には存在しない状況において、我々は、政策立案者をはじめ、学术界の有識者、市民社会のリーダー達を含む民主主義のステークホルダー達が地域の民主的発展を支援するための戦略を討議し、練っていくための地域的プラットフォームとしての役割を果たすことを目指している。また、民主主義が安全保障、平和および繁栄の最善の保証となるとの共通の理解に基づき、この地域において共通の目的に向けて取り組む民主化アクター達の連帯の促進も目指す。

初会合のあと、香港、ミャンマー、アフガニスタンとインド太平洋地域において民主主義は攻撃に晒されており、ロシアによるウクライナの全面的な侵攻は、欧州全体及びそれを超えて平和を脅かしている。コロナ禍およびそれに伴う経済・政治・健康への有害な影響を背景に、権威主義の復活、反自由主義的な国内政治勢力、社会的・経済的不平等、環境災害および蔓延する汚職が、民主主義の後退を煽っている。確立した民主主義諸国においても、虚報、政治の分極化、反自由主義的ポピュリズム、およびエリート層によるガバナンス機構に対する信頼の喪失など、民主主義に対する深刻な脅威に直面している。更に台湾は、その活力ある民主主義に対し、恒常的かつ差し迫った脅威に直面している。

これらのチャレンジを前に、世界中で、人々は自由と基本的人権を望み、苦闘しており、また、より開かれ、透明性と説明責任が果たされた包摂的な社会を求めている。民主化のアクターたちは、アドボカシー活動と困難な闘いを続け、焦点をあてた意義のある効果的な民主化運動を継続するために努力している。

民主主義が多重の難題に直面しつつも成長していくためには、その他の制度よりも目に見える便益を提供できる制度であることを示さねばならない。民主主義は単なる選挙プロセスのことだけではない。国連憲章および世界人権宣言に記された原則を守る唯一のガバナンス制度である。市民的自由および法の支配を尊重することにより、民主主義諸国は、保健、教育、経済発展への平等なアクセスを提供し、政府による説明責任を保証することがより確実である。政治指導者に対する抑制と均衡は、彼らに過ちがあれば是正されることを保証し、武力攻撃や戦争を大幅に阻止することになる。

民主主義が便益を提供していくためには、独立したメディア、ビジネス、労働、学術、市民社会、女性、若者、少数派、政治家、宗教団体、地方政治家およびより広い一般市民を含む多様なステークホルダーの参加に基づく、社会全体が一丸となるアプローチが必要である。

近年のチャレンジにも拘らず、インド太平洋地域には強固でダイナミックかつ多様性のある民主主義国が存在し、顕著な政治的前進を遂げてきた。サニーランズ・イニシアティブは、この見事な進展を祝福し、民主的発展に対する地域的コミットメントの強化のために取り組んでいく。

サニーランズ・イニシアティブは、その役割として、民主的社会を定義する共通の規範と価値観、民主主義が便益を提供するための方途、また、アジア太平洋地域におけるルールに基づく秩序を守る地域パートナーシップの構築について、活発な意見交換のファシリテーターおよび招集者を想定している。

上述の目的に向け、インド太平洋における民主主義諸国は、自由民主主義の理念に対する信念に対する自信を持つと同時に、民主主義は本質的に発展途中のものであるとの認識のもと、民主化支援に取り組まねばならない。民主化支援は政府間のイニシアティブのみでは成果をあげることはできず、むしろ、市民社会の市民の意思を反映するボトム・アップのアプローチと特定の文脈に基づき、ステークホルダーに働きかけねばなら

ない。市民社会組織、地方政治家、独立メディア、シンクタンクおよびその他の非政府アクターは、人権の保護、虚報への対処、政治における汚職の顕在化、および自由で独立したメディアを擁護するための戦略を見出し、共有することにより、国際協力において重要な役割を担う。ステークホルダーのネットワークを養成し、民主的ガバナンスを支援するメカニズムの発展を支持することにより、インド太平洋地域において実務家は、願望から連帯、そして行動に移ることができる。

これらの提言を具体的に推進するため、サニーランズ・イニシアティブは主要政府および非政府セクターのステークホルダーとの対話シリーズを企画し、国家や地域レベルにおける政策の策定や民主化支援において、共通の民主的原則がさらに一層理解され、適用されるよう働きかけていく。

我々は、関係する多国間組織および地域プラットフォームや組織との連携のもと、共通の民主的原則に関するサニーランズ宣言に明記されている原則を増強するよう取り組む。

民主主義のステークホルダーによる様々な協力イニシアティブとネットワークの形成を促進し、地域的アーキテクチャーの創設を含め、共通の規範と価値観を推進する。

独立メディアや市民社会組織を支援する新たなメカニズムの設立を含め、これらの支援を強化するよう奨励する。このため地域の民主主義諸国が強力な指導力を発揮することを求める。

自国での生活を追われたこの地域の活動家に対して、避難所、フェローシップ、オペレーションおよびプログラム上の支援を提供するため地域レベルのイニシアティブを強化し、緊急のニーズに対する支援を検討していく。

我々は、地域の政府が、その外交政策、開発協力および国家安全保障戦略において、民主的ガバナンスおよび規範への支援の優先度を高めるよう要請する。

問い合わせ先
公益財団法人 日本国際交流センター
Tel.03-6277-7811 (代表)
専務理事・事務局長 勝又英子 deko@jcie.or.jp
プログラム・オフィサー 田井中亮 tainaka@jcie.or.jp
プログラム・アソシエート 近藤慈子 skondo@jcie.or.jp